

2020年10月21日

**【格付変更/維持】****マネックスグループ**

発行体格付： BBB → BBB- [格付の方向性：安定的]

**マネックス証券**

発行体格付： BBB [格付の方向性：安定的]

コマーシャルペーパー： a-2

---

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

**【格付理由】**

日米のオンライン証券や暗号資産交換業者などで構成する金融グループ。オンライン証券の競争が厳しくなるなかでもグループ全体の信用力を維持しており、中核会社であるマネックス証券(MS)の発行体格付BBBを維持した。一方、持株会社であるマネックスグループの格付にはグループの信用力を反映しているものの、自己株式の取得や子会社への出資で財務レバレッジが拡大しており、持株会社の構造的劣後性などを踏まえ中核会社であるマネックス証券の1ノッチ下のBBBに変更した。

MSは日本の大手オンライン証券の一角。米国の証券子会社TradeStation Securitiesは小規模ながら取引頻度の高い顧客を抱える。2020年3月のコロナショックを契機に、日米の証券会社ともに株式取引が増加している。株式市場の活況を取り込むとともに、取引に応じて手数料を受け取る「ブローカーサービスビジネス」から資産形成・運用の支援で収益を得る「アセットマネジメントサービスモデル」への転換を目指している。狙い通りの取引を増やせるか見守る。

リスク選好度は比較的低い。傘下金融機関のビジネスはオンラインでのブローカレッジ業務が中心で、抱えるリスクは小さい。リスク耐久力は格付対比良好だ。収益の安定性やコスト構造は格付に見合う。取引構成の違いから日米の証券会社で収益構造が異なり、グループ全体では収益源が分散している。ただし、システム費用や人件費が多く、経費率はオンライン証券の中でも高い。

米国に続いて日本でも株式手数料の無料化が進展している。米国では委託手数料以外にも収益機会が存在するため、手数料ゼロ化の影響を補うことができた。日本では収益機会が限られており、日本株の委託手数料の引き下げが進むと、経費率が高いだけに利益を確保するのが難しくなる。現物株式以外の取引の拡充やコスト削減の進展に注目している。

**○マネックスグループ**

グループの持株会社。関係会社株式等を持株会社単体の株主資本で除したダブルレバレッジ比率は100%を上回る。自己株式の取得や子会社への出資の増加でこの比率は年々高まっている。新たなビジネスモデルの構築やサービス拡充には今後も一定規模の投資が必要になるとR&Iはみている。中期的には同比率を引き下げていく方針だが、総還元性向が高く、グループの収益力を踏まえると内部留保の蓄積で同比率を100%未満にするのは難しい。これらを踏まえ、持株会社の格付に持株会社の構造的劣後性などを反映した。

**○マネックス証券**

グループの中核証券会社で日本でのオンライン証券事業を担う。グループにとって不可欠な存在であり、格付はグループ全体の信用力を反映している。

---

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

## 【格付対象】

発行者：マネックスグループ（証券コード：8698）

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	BBB → BBB-	安定的

発行者：マネックス証券

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	BBB（維持）	安定的

名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	300	無担保	a-2（維持）

発行者：マネックスファイナンス

名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
ユーロMTNプログラム	600	マネックスグループと マネックス証券の連帯保証	BBB（維持）

☆MTNプログラムに対する信用格付はプログラムを対象としており、プログラムのもとで発行する個々の債券に対する信用格付ではありません。個々の債券の信用格付は通常、同プログラムの信用格付と同一ですが、クレジットリンク債、インデックスリンク債など個々の債券の契約内容によっては、同一とならない、あるいは格付しないことがあります。R&Iは依頼に応じて、個々の債券にも信用格付を付与することがあります。

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	松島 賢宗
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2020年10月21日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020. 03. 23] 証券会社 [2020. 06. 19] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>	
格付関係者	マネックスグループ、マネックス証券、マネックスファイナンス
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されて いる決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を 判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界	
R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。	
R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合 には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信 用格付を取り下げることがあります。	
利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性 が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することが あります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。